

【第1部】基礎編

Q1. 「つ」「ぬ」の用法を答えよ。

物書きつ。

Q2. 用法を答えよ。

花散りぬ。

Q3. 用法を答えよ。

行きつ戻りつ。

Q4. 用法を答えよ。

行きぬべし。

Q5. 用法を答えよ。

知りつ。

Q6. 用法を答えよ。

月出でぬ。

Q7. 用法を答えよ。

思ひつ。

Q8. 用法を答えよ。

春過ぎぬ。

Q9. 用法を答えよ。

言ひつべし。

Q10. 用法を答えよ。

鳥の鳴きぬ。

Q11. 用法を答えよ。

来（き）ぬる人。

Q12. 用法を答えよ。

行きつる所。

Q13. 用法を答えよ。

雨降りぬべし。

Q14. 用法を答えよ。

嵐山に登りつ。

Q15. 用法を答えよ。

春来たりぬ。

Q16. 用法を答えよ。

詠みつれば、心晴れぬ。

Q17. 用法を答えよ。

仏に祈りぬ。

Q18. 用法を答えよ。

早く来（き）てよ。

Q19. 用法を答えよ。

一人立ちぬ。

Q20. 用法を答えよ。

月見つべし。

【第2部】標準編

Q21. 用法を答えよ。

いそぎ立ちぬべき所。

Q22. 用法を答えよ。

早く行かで、なほ立ちつ。

Q23. 用法を答えよ。

風吹きぬべし。

Q24. 用法を答えよ。

詠みもつ、歌ひもつ。

Q25. 用法を答えよ。

春の野に若菜摘みつ。

Q26. 用法を答えよ。

鶯さへづりぬ。

Q27. 用法を答えよ。

心通はしつ。

Q28. 用法を答えよ。

仏に祈りぬれば、安らぎぬ。

Q29. 用法を答えよ。

知りづべし、と思ふ。

Q30. 用法を答えよ。

道に迷ひぬ。

Q31. 用法を答えよ。

仰せづべし。

Q32. 用法を答えよ。

物言ひぬ。

Q33. 用法を答えよ。

来づる方角。

Q34. 用法を答えよ。

言ひづべきこと。

Q35. 用法を答えよ。

古典を学びぬべき時なり。

Q36. 用法を答えよ。

過ぎ行きぬる春。

Q37. 用法を答えよ。

月出でづ。

Q38. 用法を答えよ。

雪降りぬべき空。

Q39. 用法を答えよ。

言ひづれば、人皆笑ふ。

Q40. 用法を答えよ。

物思ひぬ。

Q41. 用法を答えよ。

鳥や鳴きづらむ。

Q42. 用法を答えよ。

知りぬらむ。

Q43. 用法を答えよ。

嵐山の紅葉散りつるを、嘆く。

Q44. 用法を答えよ。

物食はずして寝ぬ。

Q45. 用法を答えよ。

言ひてよ。

Q46. 用法を答えよ。

思ひなばや。

Q47. 用法を答えよ。

行きつ戻りつ思ひ嘆く。

Q48. 用法を答えよ。

春雨降りぬ。

Q49. 用法を答えよ。

我れも詠みつべし。

Q50. 用法を答えよ。

物書きぬ。

【第3部】 応用編

Q51. 用法を答えよ。

我れ歌詠みつるものを、人皆冷たし。

Q52. 用法を答えよ。

鶯さへづりぬれば、春來たる。

Q53. 用法を答えよ。

物言ひつべきを、口を閉づ。

Q54. 用法を答えよ。

鳥や鳴きぬらむ。

Q55. 用法を答えよ。

月出でつらむ。

Q56. 用法を答えよ。

春過ぎぬべし。

Q57. 用法を答えよ。

我れも仕うまつりづべし。

Q58. 用法を答えよ。

心通ひぬべき人。

Q59. 用法を答えよ。

知りづべき時。

Q60. 用法を答えよ。

いざ参りぬ。

Q61. 用法を答えよ。

風吹き止みづ。

Q62. 用法を答えよ。

雪深く積もりぬれば、道見えず。

Q63. 用法を答えよ。

古典を学びづ。

Q64. 用法を答えよ。

物思ひづらむ人。

Q65. 用法を答えよ。

月隠れぬらし。

Q66. 用法を答えよ。

言ひてよ、と言ひ給ふ。

Q67. 用法を答えよ。

春過ぎて夏来たりぬ。

Q68. 用法を答えよ。

古典を究めづべき才。

Q69. 用法を答えよ。

心ある人にあらずして、なほ嘆かれぬ。

Q70. 用法を答えよ。

物思ひつつ、夜更けゆく。

Q71. 用法を答えよ。

雪降りつ消えつ。

Q72. 用法を答えよ。

古き世にありぬべき人。

Q73. 用法を答えよ。

物言ひつれば、心軽し。

Q74. 用法を答えよ。

雪深く降りぬれば、出でられず。

Q75. 用法を答えよ。

知りつれば、なほ嘆く。

Q76. 用法を答えよ。

風吹きぬらむ夜。

Q77. 用法を答えよ。

月清く照りつらむ里。

Q78. 用法を答えよ。

春雨降りぬべき時。

Q79. 用法を答えよ。

仕うまつりつべき所。

Q80. 用法を答えよ。

鳥や鳴きつらむ。

【第4部】入試レベル

Q81. 用法を答えよ。

春過ぎて夏来たりりぬらし白妙の衣干すてふ天の香具山。

Q82. 用法を答えよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと問ひつ。

Q83. 用法を答えよ。

京にて生まれたりし女子、国にてにはかに失せにしかば、…

Q84. 用法を答えよ。

雪のいと高う降りつるを、例ならず御格子参りて、…

Q85. 用法を答えよ。

物のあはれを知る人は、これを尊しと思ひぬべし。

Q86. 用法を答えよ。

我れも詠みづべきを、いまだ詠まず。

Q87. 用法を答えよ。

古き友、今宵来ぬらむ。

Q88. 用法を答えよ。

春の野に若菜摘みつるは、いまだ春浅し。

Q89. 用法を答えよ。

心ある人にあらぬは、これを尊しと思はずして、ただ過ぎぬ。

Q90. 用法を答えよ。

仏前に祈りつれば、心安らぎぬ。

Q91. 用法を答えよ。

我れ古典を究めつるを、人皆敬する。

Q92. 用法を答えよ。

春過ぎぬべき時節。

Q93. 用法を答えよ。

雨降りづやみづ。

Q94. 用法を答えよ。

月隠れぬべき夜半。

Q95. 用法を答えよ。

言ひづべきこと、なほ言はず。

Q96. 用法を答えよ。

風吹きぬらし。

Q97. 用法を答えよ。

古き世にありきつる人々。

Q98. 用法を答えよ。

物思ひぬべき時節なり。

Q99. 用法を答えよ。

行く川のながれは絶えず、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、つひに消えぬ。

Q100. 用法を答えよ。

物のあはれを知りつるは、なほ心深し。